



「みんなちがって、みんないい」

副校長 池浦 也寸志

公開研究会が終わり、学校も一段落したところですが、子どもたちにとっては4月から入学、進級で学級の中に自分の居場所を見つけるまでは、心が落ち着かない日々を過ごしてきたことと思います。学級対抗リレー大会や春の一日遠足といった行事を通して、学級の友達との絆も深くなっていくことでしょう。そろそろ、学級にも慣れてくると我が出始める頃でもあります。

さて、保護者の皆さんは、親としてわが子がどんなタイプだったら、安心しますか。

子どもを「学校と家での様子」の2つの要素で分けると、次の4つのタイプに分けることができます。

- ① 家でも学校でもいい子
- ② 家ではいい子、学校ではわがままな子
- ③ 家ではわがままだが学校ではいい子
- ④ 家でも学校でもわがままな子



このように分けたとき、多くの親は、④のタイプにだけはなほしくないと思うのではないのでしょうか。

では、①・②・③のどのタイプが望ましい子なのでしょうか。

①のタイプであって欲しいと望む親は多いことでしょう。確かに親の立場となると安心な子でしょうが、本当に①のタイプで問題がないのでしょうか。「いつでもどこでもいい子」いい響きですが、どこかに無理があるような気もします。本人が全くの自然体できているのであれば問題はないですし、素晴らしいことだと思えますが、親等の無言または有言なプレッシャーがあり、本人の意に反して①を演じているのだとしたら、いつかどこかで何らかの問題行動が生じてしまうことが多いのです。その典型的なタイプが②です。

人間は、善の心と悪の心を混在してもっています。悪の心の部分をどこかで発散できる相手や場所があってはじめて、人は精神が安定します。子どもなら、その場所が家であってほしいですし、わがママが言える相手が家族であってほしいと思います。③のタイプぐらいが一番いいのではないのでしょうか。現実には、なかなかそういうふうにしたがえない環境にある家庭もあると思います。

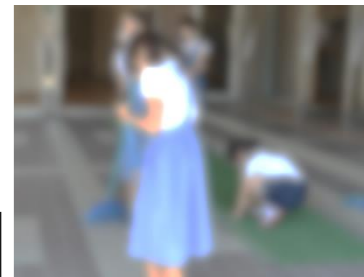
実は、2年前にも同じ問いをこの「学校だより」に載せました。2年経って、お子さんの見立てが変わったり、変わらなかったりするのではないのでしょうか。しかし、新型コロナの影響で、この2年間は、明らかにこれまでの生活が一変しました。例えば、家庭で家族と一緒に過ごす時間が多くなっていることで普段、見せない態度も一緒にいる時間が長いからこそ目に付くこともあるかもしれません。学校には、担任、スクールカウンセラーがいます。ぜひ相談してください。学校と家庭と一緒に協力し合って、子どもたちの望ましい成長を見守ってまいります。



～自己有用感を高める教育活動の推進～

● 自分ができるところを ～公開研究会の前日準備～

公開研究会の前日、来校する方々を美しい環境で迎えようと、校内の様々な場所の清掃作業に取り組む子どもたちの姿や、体育館の椅子を丁寧に並べたり、受付用テントの設営に取り組んだりする子どもたちの姿が見られました。児童玄関周辺の清掃作業をしていた高学年児童に話を聞くと、次のような言葉が返ってきました。



【落ち葉や砂を丁寧に取り除く高学年児童の姿】

「落ち葉や砂がなくなって、とてもきれいになった。」
「きれいな学校で、先生方を迎えるためにがんばることができた。」
「きれいになると気持ちがよく、自分も公開研究会でがんばろうという気持ちになった。」

子どもたちの言葉や姿から、子どもたちが、自分や周りの人の気持ちを考え、自分ができるところに取り組むことで、環境を美しくするといった目に見える「美しさ」と自分や相手も気持ちよくなる目には見えない「美しさ」を実感していることが分かります。その他にも、「美しさ」には時と場合合わせたあいさつや立ち振る舞いの美しさ、相手のことを考えた発言の美しさ、活動に精一杯取り組む行動の美しさなどがあります。今年度の「ふぞくの風」では、「美しさ」をキーワードにしながら、子どもたちの相手意識をもった言動や所作にスポットを当て、「美しさ」あふれる子どもたちの様子を伝えていきます。そして、友達に認められたり、教師や家族に価値付けられたりすることを通して、子どもたちの自己有用感を高めていきたいと考えます。

● 子ども、保護者、職員が一丸となって行った公開研究会

令和4年度の公開研究会が、5月19・20日に開催されました。来校者、オンラインでの参加者合わせて800名を超える先生方や学生が参観する中、子どもたちは日頃の学習の成果を発揮して、自分から進んで考えを伝えたり、友達の考えを自分の考えに生かしたりする姿が見られました。参加された先生方からは、「子どもが主役となった授業であった。」「子どもたちの意見交流が活発で、このような授業を目指していきたい。」といった子どもたちの学びの姿に対する称賛の声が聞かれました。



【参加者を笑顔で迎え、丁寧に説明を行う保護者の姿】

このような子どもたちの頑張りの裏には、「ちからの会公開前美化作業」、「保健部による公開前日の清掃」、「公開当日の学年理事・執行部の受付」、「安全部の下校指導」といった保護者の皆様の働きや支えがあり、公開当日、スムーズに運営することができました。これらのことから、附属小にとって大きな行事の一つである公開研究会は、子ども、保護者、職員が一丸となって取り組むことによって乗り越えられるものであり、このことこそが附属小の伝統やよさであると考えます。

【6月の主な行事】

| | | | | |
|-------|-----------------|-----------------|--------|----------------|
| 1日(水) | マナーアップ強調週間(～8日) | 交通安全教室(低・中) | 13日(月) | 知能検査(2・4年) |
| 2日(木) | 交通安全教室(高) | 交通安全教室(高) | 17日(金) | 校内読書旬間(～24日) |
| 3日(金) | 写生会 | 写生会 | 20日(月) | 人権教室 |
| 6日(月) | 教育実習(学校体験実習) | 教育実習(学校体験実習) | 26日(日) | 学校保健員会(書面開催) |
| | 栄養教諭教育実習(～17日) | 栄養教諭教育実習(～17日) | 27日(月) | 附属中学校体験入学(6年生) |
| | 水泳学習開始 | 水泳学習開始 | | 日曜参観日 |
| 7日(火) | 集団下校引渡訓練(風水害) | 集団下校引渡訓練(風水害) | | 日曜参観振替休日 |
| | 学級対抗リレー大会(1～3年) | 学級対抗リレー大会(1～3年) | | |



※ 鹿児島市内の新型コロナ感染症の感染状況によって行事の中止・変更の可能性がります。